

世界遺産
ではないけど

北九州市内の 『官営製鉄所』に関する施設

2 東田第一高炉



東田第一高炉史跡広場

官営八幡製鉄所の最初の高炉の名まえを引き継ぎながら、ほぼ同じ場所に1962年に建設された第10代目の高炉で、1972年まで実際に鉄の生産をしていました。

開館時間 9:00~17:00
(休館日: 年末年始)

河内貯水池



河内貯水池

官営八幡製鉄所の鉄づくりに必要な水を確保するため、1919年から8年もの歳月をかけ、合計90万人が力を合わせて作った巨大な貯水池です。

場所 八幡東区大字大蔵他



★眺望スペースから車で約30分

ユネスコ無形文化遺産 /

戸畑祇園 大山笠行事

2016年、山車が登場する日本全国33の伝統的、歴史的な祭りが「山・鈴・屋台行事」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。戸畑祇園大山笠行事もその一つです。これにより、北九州市には有形・無形二つの世界的遺産がある街になりました。



世界遺産がある東田エリアには、「産業」や「歴史」、「環境」に関する学習施設が集まっているんだよ!

1 官営八幡製鉄所 旧本務所展望スペース

開場時間: 9:30~17:00 (最終入場16:30)
定休日: 毎週【月】(祝日・休日の場合はその翌日)
年末年始 (12月29日から1月3日)
入場料: 無料 駐車場: 有 (無料)
※観光案内ボランティア1名常駐 (先着順)



3 北九州イノベーション ギャラリー

北九州市の産業の技術などを展示・紹介している施設です。



4 いのちのたび博物館

地球誕生からの自然と人間のいのちの歩みをたどれる自然史・歴史博物館です。



5 環境ミュージアム

「北九州市の環境」について楽しく学べる学習施設です。



北九州市の世界遺産について
もっと知りたいときは…

北九州市役所 世界遺産課へ

住所: 北九州市小倉北区城内1-1
電話: 093-582-2922

2019年4月 印刷番号1806044C

みんなで学ぼう!

北九州市の 世界遺産

官営八幡製鉄所

明治日本の産業革命遺産

製鉄・製鋼、造船、石炭産業



鉄玉先生

官営八幡製鉄所旧本務所

世界遺産ってなに？

世界遺産とは、地球上にある貴重な自然や景観、歴史的な価値の高い遺跡や建物などの中から選ばれた「人類共通の宝物」です。すべての世界遺産は、人種や国境をこえて、世界中の人たちが次の世代に受け継いでいかなければなりません。



★スフィンクスとクフ王のピラミッド【エジプト】

世界遺産ってどんな種類があるの？



世界遺産には3つの種類があるんじゃ。



文化遺産

建物や遺跡など人間がつくったもの



★パルテノン神殿【ギリシア】
アクロポリスの丘の上に建つ古代ギリシアの神殿。アテネの守神アテナイ神を祀っています。

自然遺産

美しい風景や特徴的な地形、貴重な動植物の生息地など自然のもの



★グランドキャニオン【アメリカ】
6500万年前、大陸が盛り上がることでできたのがコロラド高原です。その高原を流れるコロラド川が、大地をけずって作られた峡谷です。

複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方の価値を持っているもの



★マチュピチュ【ペルー】
高い山の上にある、インカ帝国の都市の遺跡です。ふもとから見えないので「空中都市」とも呼ばれています。

世界遺産になるためには？



- 1 国が世界遺産にしたい候補を決める
- 2 国が世界遺産にするようユネスコに推薦する
- 3 ユネスコが世界遺産に登録するかどうか決める

日本の世界遺産はどんなものがあるの？

日本には現在、22件の世界遺産があるのじゃ
(2019年4月現在)



文化遺産

- 1 法隆寺地域の仏教建造物【奈良】
- 2 姫路城【兵庫】
- 3 古都京都の文化財【京都、滋賀】
- 4 白川郷・五箇山の合掌造り集落【岐阜、富山】
- 5 原爆ドーム【広島】
- 6 厳島神社【広島】
- 7 古都奈良の文化財【奈良】
- 8 日光の社寺【栃木】
- 9 琉球王国のグスク及び関連遺産群【沖縄】
- 10 紀伊山地の霊場と参詣道【和歌山、奈良、三重】
- 11 石見银山遺跡とその文化的景観【島根】
- 12 平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群【岩手】
- 13 富士山-信仰の対象と芸術の源泉【静岡、山梨】
- 14 富岡製糸場と絹産業遺産群【群馬】
- 15 明治日本の産業革命遺産～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～【岩手、静岡、山口、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島】
- 16 ル・コルビュジエの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献-【東京】
- 17 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群【福岡】
- 18 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産【長崎、熊本】

自然遺産

- 1 屋久島【鹿児島】
- 2 白神山【青森、秋田】
- 3 知床【北海道】
- 4 小笠原諸島【東京】



2015

江戸時代の終わりから明治時代にかけて急速に発展した日本の産業遺産のグループ
「明治日本の産業革命遺産～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～」

世界文化遺産に登録されました！

- ❗ 1つの遺産ではなく、23の遺産のグループ！
- ❗ 北九州市にある施設が含まれている！

日本で19番の世界遺産誕生！

世界遺産

明治日本の産業革命遺産

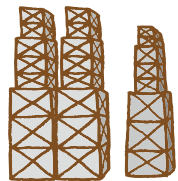
製鉄・製鋼、造船、石炭産業

幕末(江戸時代の終わり頃)

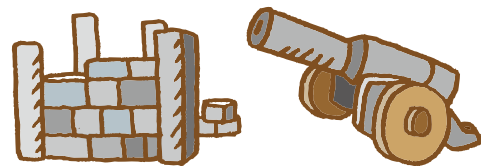


江戸時代の日本は「鎖国」といって、外国との貿易や交流を禁止し、国を閉ざしていました。産業の中心は「農業」でした。

しかし、幕末になると、ヨーロッパの強国(イギリスやフランスなど)がアジアにやってきて、日本の周辺国を次々に植民地にしていきます。日本にもアメリカをはじめ、「黒船」と呼ばれる外国の軍艦がやってきて、人々を震え上がらせました。



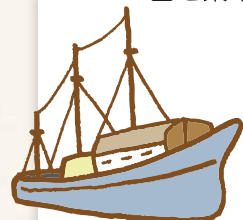
その時、日本の侍たちは自分たちの国を守るため、西洋の書物を研究し、それまで日本にはなかった鉄の船や大砲づくりに挑戦していきます。そして、全国各地に、西洋の技術を取り入れ、日本人の手でつくった産業の設備がたくさん建設されていきました。



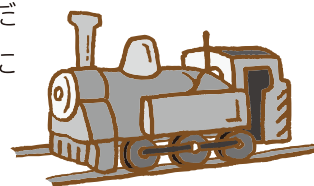
明治時代へ

その後、江戸幕府は倒れ、新しく明治政府が誕生しました。

明治政府は、新しい国づくりの参考とするため、文明の進んだヨーロッパやアメリカの様子を調査に行きます。そこで、産業の発展が国を繁栄させていることを知ります。



そして、日本の繁栄のために「産業」をもっと発展させるべきだと考え、「殖産興業」(新しい産業を興し、それを発展させ、国民生活を豊かにすること)を目標に、進んだ西洋の技術を積極的に取り入れました。



その後も、さまざまな人々が産業発展のために努力した結果、日本の近代化を支える重工業(造船、製鉄・製鋼、石炭産業)は猛スピードで発展していきました。



こうして日本は、幕末から明治にかけての短い期間に産業発展を成し遂げ、西洋などの外国と肩を並べる産業国家になっていったのです。

この出来事は、世界の歴史でも例のない、すごいことだといわれています。そして、その当時の産業発展の歴史を示す建物などが、100年以上たった今も各地に残っており、それらが「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録されたのです。



明治日本の産業革命遺産は

日本の8つの県にある施設を1つのグループにしたものです!



中には、現代の設備と同じように今も作業に使われている「稼働施設」もあるのじゃ!

エリア	構成資産
1 秋	萩市 萩反射炉 恵美須ヶ鼻造船所跡 大板山たたら製鉄遺跡 萩城下町 松下村塾
2 鹿児島	鹿児島市 旧集成館 寺山炭窯跡 関吉の疎水溝
3 釜山	伊豆の国市 釜山反射炉
4 釜山	釜山市 橋野鉄鉱山【一部稼働】
5 佐賀	佐賀市 三重津海軍所跡
6 長崎	長崎市 小菅修船場跡 三菱長崎造船所 第三船渠【稼働】 同 ジャイアント・カンチレバークレーン【稼働】 同 旧木型場 同 占勝閣 高島炭坑 端島炭坑 旧グラバー住宅

エリア	構成資産
7 三池	大牟田市 三池炭鉱 宮原坑 荒尾市 同 万田坑 大牟田市 同 専用鉄道敷跡 大牟田市 三池港【稼働】 宇城市 三角西港
8 八幡	北九州市 官営八幡製鉄所 日本事務所 同 修繕工場【稼働】 同 旧鍛冶工場 中間市 遠賀川水源地ポンプ室【稼働】



北九州市は世界遺産のあるまちになったんじゃ



エリア 8 八幡エリア

八幡エリアからは、国内で鉄をつくるために八幡東区につくられた「官営八幡製鉄所」の建物が世界文化遺産に登録されました。100年以上も前につくられたこの4つの建物は、今も工場の中などにあるため自由に見ることはできませんが、現在も使われ続けているものもあり、大変貴重な遺産です。

※官営⇒国が運営すること

世界遺産登録された「官営八幡製鉄所」の建物

写真提供: 日本製鉄(株)八幡製鉄所



日本事務所
[北九州市]
明治32(1899)年に建てられた赤煉瓦の建物で、製鉄所の中心的な役割を果たした施設。長官室、外国人技師室などがありました。



修繕工場
[北九州市]
明治33(1900)年、製鉄所で使用する機械の修繕などを行うため、ドイツの会社の技術を用いて建設されました。今も使われています。



旧鍛冶工場
[北九州市]
修繕工場と同時期に建設され、製鉄所をつくるために必要な金物や大型の工具をつくっていました。



遠賀川水源地ポンプ室
[中間市]
鉄鋼生産に必要な水を八幡製鉄所に送るための施設です。明治43(1910)年につくられ、現在も動き続けています。

八幡村(現在の北九州市八幡東区)に官営製鉄所ができるまで。

日本の鉄づくりの歴史

その歴史を
見てみよう!

私たちの身の回りの、いろいろなものに使われている「鉄」は産業に欠かすことのできないものです。

スタート!

昔

日本には昔から、砂鉄を原料に鉄をつくる「たたら製鉄」という鉄づくりの技術がありました。この「たたら製鉄」で農機具や刀などをつくっていました。



幕末

日本の国を守るために、「たたら製鉄」でつくった鉄をたくさん集めて「反射炉」と呼ばれる設備で溶かしたあと、加工して、大砲などをつくりました。しかし、この鉄はもろく、性能のすぐれた大砲をつくることはできませんでした。

新しい鉄づくりがスタート

そこで、蘭学書(オランダの書物)だけを頼りに、岩手県釜石市で、鉄鉱石を原料とした高炉(鉄鉱石を溶かし、鉄を取り出す設備)による強い鉄づくりに日本人が挑戦し、成功しました。



写真提供:釜石市

明治
[初期]

明治時代に入ると西洋から進んだ技術を取り入れ、産業の発展に力を入れます。そして「ヨーロッパやアメリカのように、鉄を自分たちでつくろう!」と、日本初の官営製鉄所を釜石市にオープン!



写真提供:日本製鉄(株)棒線事業部釜石製鉄所

しかし...
失敗

【製鉄所で働いていた優秀な人】
田中 熊吉



高炉のことが何でもわかり、「高炉の神様」と呼ばれました。

写真提供:日本製鉄(株)八幡製鉄所



1909年頃の官営八幡製鉄所

官営八幡製鉄所は、最初の頃は大変苦勞をしましたが、日本の技術者たちの努力によって、1910年には、国内で生産される鉄の90%以上を生産できるまでになりました。

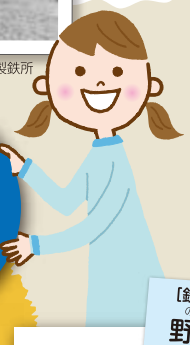
その後も、多くの人々が一生懸命情熱を注いだおかげで、国を代表する製鉄所として拡大していき、日本の発展に大きく貢献しました。

ドイツの技術を取り入れて、官営八幡製鉄所の建設が始まりました。そして、遂に1901年、官営八幡製鉄所がオープン! 鉄の生産を開始!



1901年 第一高炉の火入れ式

明治
[終り頃]



【鉄に詳しい学者】
野呂 景義

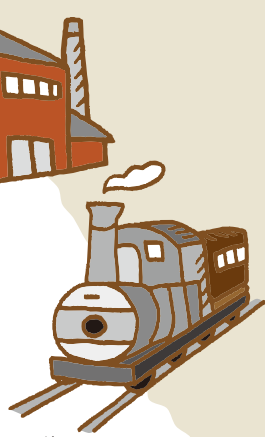


製鉄所が順調に鉄を生産できるように活躍しました。

写真提供:一般社団法人日本鉄鋼協会

明治
[中期]

明治20年代に入ると、繊維産業などが発展し、ものを運ぶための船や鉄道も増えていきます。



しかし、当時の日本は、レールなどの強い鉄でできた製品を作ることができず、ほとんどを海外から輸入していました。

しかし...

【地元の実業家】
安川 敬一郎



【八幡村の村長】
芳賀 種義



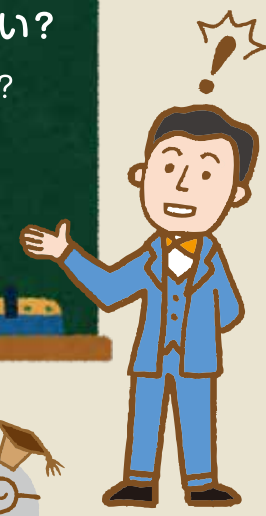
製鉄所が八幡にできる良さを地元の人たちに説明したり、国へ働きかけたりして、八幡に製鉄所を誘致するため、力を尽くしました。

写真(右)提供:日本製鉄(株)八幡製鉄所

いろいろな候補地を調べた結果...

製鉄所をどこにつくればいい?

- 材料(石炭など)は近くにある?
- 材料やできあがった製品を運ぶのに便利?
- 水が近くにある? ...など



1895年(明治28年)の国会で、官営製鉄所の建設が決定!



やっぱり、日本の国内で鉄鋼をつくらないとだめだ! 製鉄所をつくろう!



鉄を輸入にばかり頼っていたため、産業が発展するとともに、国の家計がどんどん苦しくなっていました。

